

多摩川台古墳群(大田区)



6世紀前半～7世紀中頃までに築造された一連の古墳群

東京都指定史跡

多摩川台古墳群

所在地 大田区田園調布一丁目六十三番

同四丁目三番

指定 平成十二年三月六日

多摩川台古墳は、八基からなる古墳時代後期の古墳群である。古墳群の南側には国指定史跡亀甲山古墳、北側には東京都指定史跡宝萊山古墳の二基の大型前方後円墳が古墳時代前期（四世紀）に築造されている。

古墳群は、最初に二号墳が六世紀前半に築造され、二号墳を前方部として利用し、一号墳を後円部とする一基の前方後円墳（全長三十九メートル）が六世紀後半に築造された。その後、三号墳から八号墳までの円墳（直径十三～十九メートル）が七世紀中頃まで継続して築造された。

発掘調査された古墳の横穴式石室内からは、副葬された直刀や鉄鏃等の武具類、耳飾りや管玉等の装身具類、馬具の轡、須恵器や土師器が出土し、墳丘部からは円筒埴輪が発見された。

本古墳群は、大田区田園調布付近から世田谷区野毛付近に所在し、昭和初期に五十四基の古墳が確認されていた荏原台古墳群の一支群にあたる。今日、荏原台古墳群の多くの古墳が都市化の波に埋もれてしまっている中で、本古墳群は往時の姿をとどめているだけでなく、当時の多摩川下流左岸地域の首長墓群の変遷をたどることができ、貴重な古墳群である。

平成十三年三月三十一日 設置

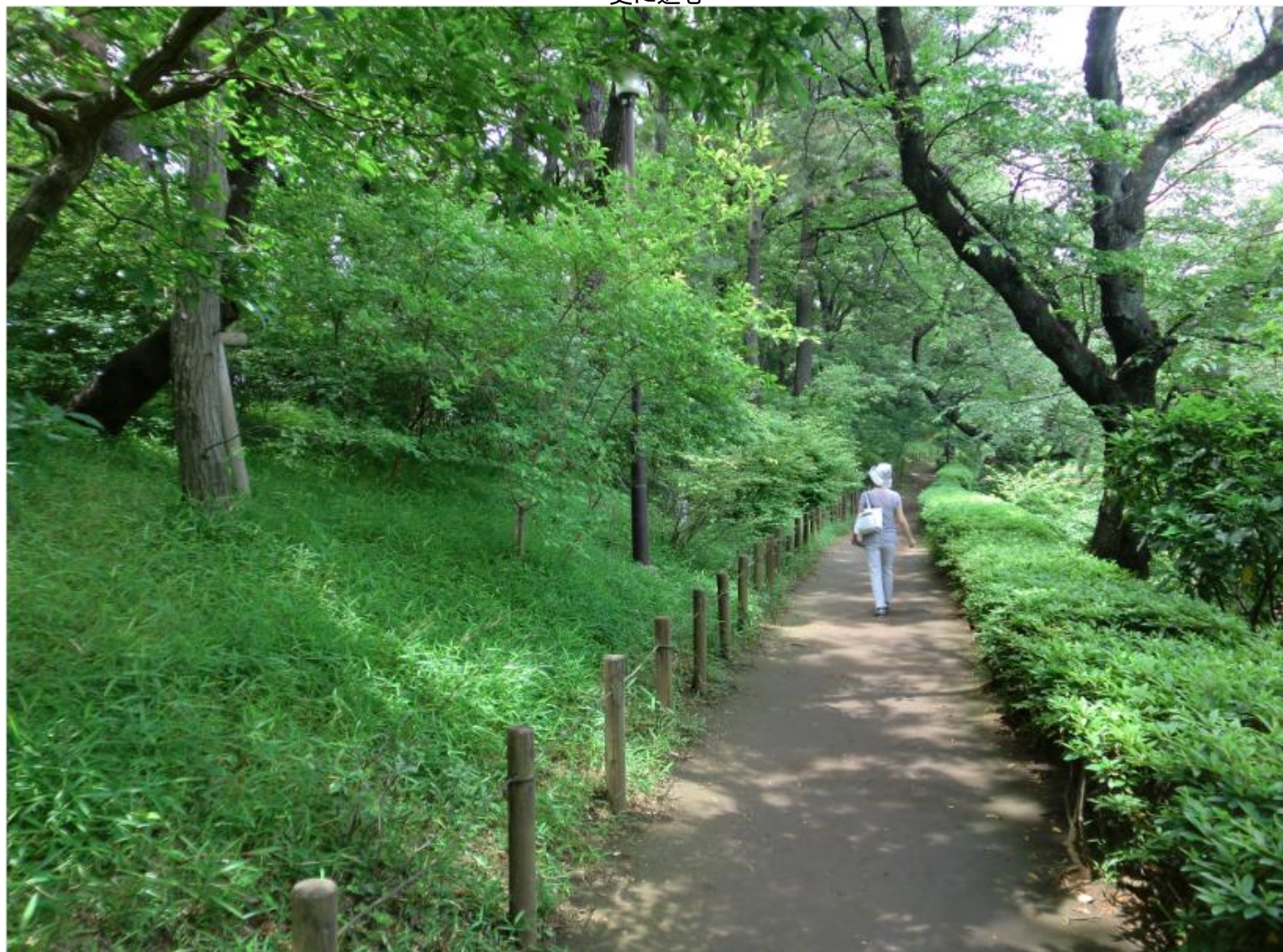
東京都教育委員会

文化財を大切に

1号墳



更に進む



2号墳



反対側に回ってみよう



反対側から見た2号墳



近年の調査で、第1・2号墳は前方後円墳であることが判明したという。最初に2号墳が六世紀前半に築造され、2号墳を前方部として利用し、1号墳を後円部とする一基の前方後円墳が6世紀後半に築造されたものという。そして3号墳から8号墳までの円墳はその後、七世紀中頃まで継続して築造されたという。

さて、次の3号墳を見る



3号墳





次は4号墳



4号墳



少し進んで4号墳を振り返る



更に進んで4号墳を振り返り全体を見る



4号墳の墳頂から



さて前に進もう



5号墳を見る



5号墳





第5号墳

5号墳から6号墳へ進む



6号墳





6号墳を振り返る



次は7号墳



7号墳



反対側に回ってみよう



反対側から見た7号墳



更に前に進む





第8号墳(旧9号墳)とあるが、近年の調査で8号は古墳ではなくてただの山であることが判明して9号が8号になったとのこと





参考ホームページ

<http://otaku.edo-jidai.com/014.html>

<http://kofunnomori.web.fc2.com/tokyo/ota/tamagawa.htm>

http://kofunnomori.web.fc2.com/tokyo/ota/tama_12.htm

<http://sgkohun.world.coocan.jp/tokyo/23ku/tama1234.html>

<http://sgkohun.world.coocan.jp/tokyo/23ku/tama5678.html>

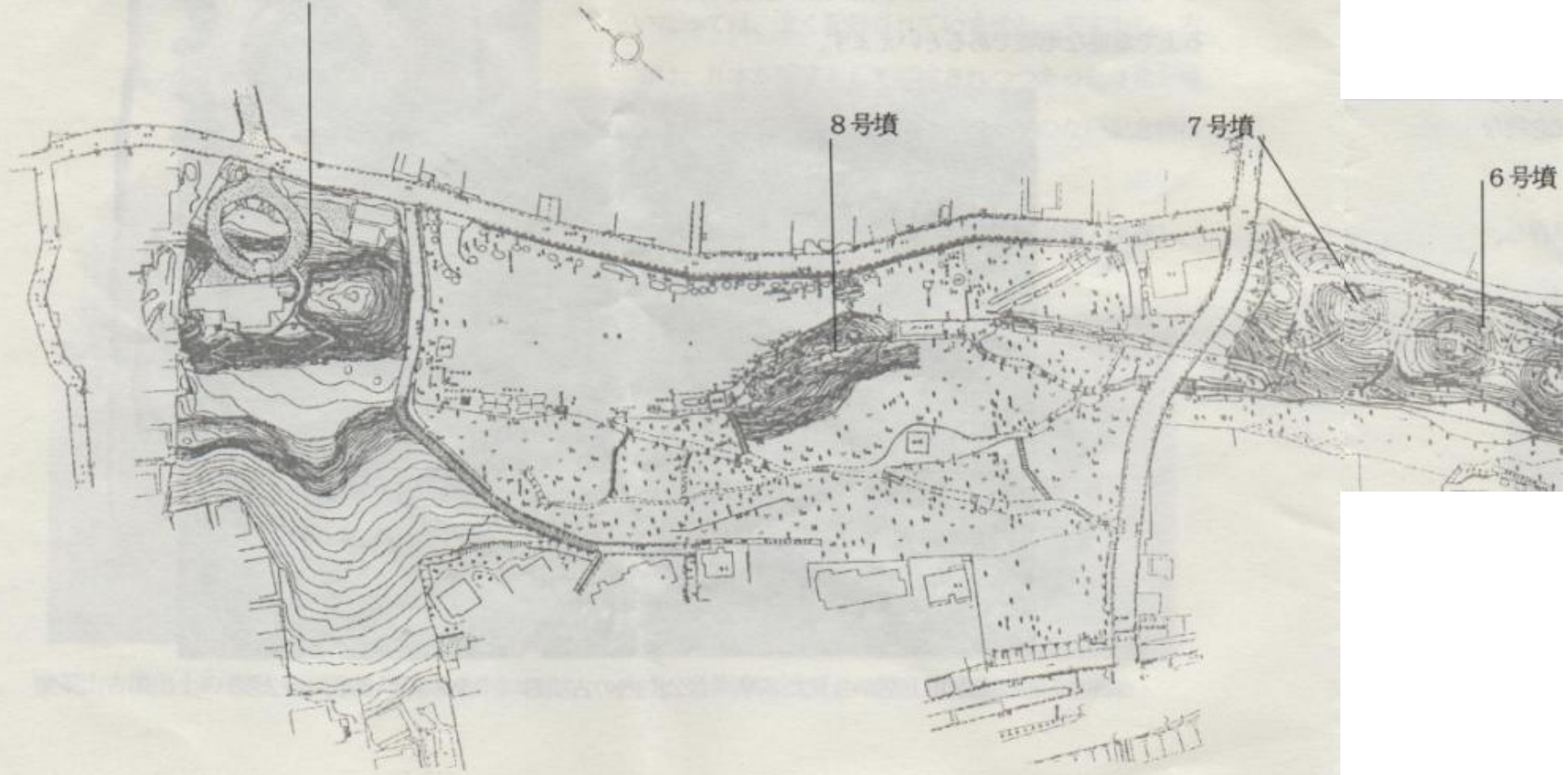
多摩川台公園内の古墳群

都史跡宝菜山古墳

8号墳

7号墳

6号墳



7号墳

6号墳

5号墳

4号墳

3号墳

2号墳

1号墳

国史跡亀甲山古墳

